

JOMF 派遣医師便り (2012. 11)

◆ジャカルタ◆ ムカデに咬まれた時

JJC 医療相談室

原 稔

ムカデに咬まれた時の対処法です。火傷をしない程度の熱めのお湯（44～45℃位）に、咬まれた部位をしばらくつけておくと痛みが和らぎます。ぬるいお湯ではダメです。逆に痛みが増します。また、冷やさないでください。やはり痛みが増します。

オコゼやゴンズイ等の毒を持った魚に刺された場合に、同様の対処法が有効なことは知られていました。救急外来で何度も経験したものです。痛みの原因となる毒性成分が熱で変性するのではないかとされています。その理屈はまだ完全には解明されていませんが、経験的に効果が有ります。今回はこれをムカデに応用したものです。

実行する際は、火傷をしないよう、お湯の温度には十分ご注意ください。

さて、ムカデは「百足」とも表記します。表現が似た単語で「kaki seribu」（そのまま日本語にすると「千足」）というのがあります。ですが、これはムカデではなくヤスデのことです。ムカデは肉食性で毒が有りますが、ヤスデは毒を持ちません。ムカデは「kelabang」または「lipan」と言いますが、ムカデとヤスデを混同して「kaki seribu」と呼ぶインドネシア人も結構居るようです。

現地の医療機関にかかる時の参考にでもしてください。

因みに英語表記は、ムカデが centipede（百本足）、ヤスデは millipede（千本足）となっています。

※編集部より※

「ムカデ」や「kelabang」で検索すると、画像、動画はじめ沢山の情報がヒットします。靴の中に潜んでいて足を咬まれる場合もあるそうです。また、ゴキブリをよく食べるらしいのでゴキブリの出るところではムカデにも注意する等々の実用的な知識もありました。ムカデで痛い思いをしないためにも記事本文とともにウェブ画像でムカデの姿形を確認することもお勧めします。